

2023

# 共通テスト 同傾向の問題



現代社会

『石に泳ぐ魚』事件に関する問題が出題。

## 共通テスト

### 第4問 問4

問 4 先生は、「防犯カメラの問題点は、基本的人権の観点から整理することができますね」と話した。基本的人権に関する日本の最高裁判所の判断として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 一連の家永教科書訴訟において、最高裁判所は、教科書検定制度が違憲であるという判断を下した。
- ② チャタレー事件において、最高裁判所は、わいせつ文書の頒布を禁止した刑法の規定は、憲法に違反すると判断した。
- ③ 『石に泳ぐ魚』事件において、最高裁判所は、小説の公表の差止めを認める判断を下した。
- ④ 三菱樹脂訴訟において、最高裁判所は、憲法の規定が私人間に直接適用されると判断した。

## 河合塾

### 全統プレ共通テスト 第1問 問2

問 2 下線部⑤に関して、日本国憲法の人権規定に関する最高裁判所の判断についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日本に居住する外国人の国政選挙権を認めていない公職選挙法の規定を違憲と判断したことがある。
- ② 小説の登場人物のモデルとされた人のプライバシーを侵害する恐れがあるという理由で表現の自由を制限し、その出版の差止請求を認めたことがある。
- ③ 夫婦同姓(夫婦同氏)を定める民法の規定は、法の下での平等に反し違憲と判断したことがある。
- ④ 憲法の生存権の規定は、具体的権利を保障したものであり、国民は同規定に基づき生活保護給付の増額を求めると判断したことがある。

共通テスト現代社会では、『石に泳ぐ魚』事件の最高裁判所の判断について出題された。全統プレテストでも、同事件の最高裁判所の判断について出題した。ともに同事件に関する理解を問うている点で共通しており、ともに正解の選択肢となっている。